

北薩感染症情報

2024年第18週(4月29日～5月5日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値		前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	2	2	0.29	→	—	—	—	—	→	—	
	COVID-19	—	—	—	15	7	1.00	↓	—	3	9	1.80	↗	—	
小児科定点	RS	—	—	—	3	4	1.00	↗	—	2	1	0.33	↓	—	
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	—	22	14	3.50	↓	◎	11	11	3.67	→	◎	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—	14	11	2.75	↓	—	41	28	9.33	↓	◎	
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	—	19	9	2.25	↓	—	2	1	0.33	↓	—	
	水痘	2.0	1.0	1.0	1	—	—	↓	—	—	—	—	→	—	
	手足口病	5.0	2.0	—	10	10	2.50	→	—	6	2	0.67	↓	—	
	伝染性紅斑	2.0	1.0	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	突発性発疹	—	—	—	2	1	0.25	↓	—	1	1	0.33	→	—	
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—	—	1	0.25	↗	—	2	2	0.67	→	—	
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—	—	—	—	→	—	/	/	/	→	/	
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	—	5	1	1.00	↓	—	/	/	/	→	/	
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
指定医療機関からの インフルエンザ入院報告		—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
指定医療機関からの COVID-19入院報告		—	—	—	1	—	—	↓	—	—	—	—	→	—	
報告数合計		—	—	—	94	60	—	↓	—	68	55	—	↓	—	
<注意報・警報レベル> ・川薩保健所管内 咽頭結膜熱(警報レベル) ・出水保健所管内 咽頭結膜熱(警報レベル), A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報レベル) <全数報告> ・川薩保健所管内 なし ・出水保健所管内 なし <インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等> ・川薩保健所管内 なし ・出水保健所管内 なし															

定点種別	疾病	警報/終息基準値	注意報基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				9W	10W	11W	12W	13W	14W	15W	16W	17W	18W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	6.43	15.86	18.57	27.43	24.71	9.29	4.86	1.86	0.29	0.29
	COVID-19	—	—	10.00	11.43	8.71	4.43	4.14	2.57	2.71	2.57	2.14	1.00
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	0.25	0.25	0.25	0.75	0.25	—	4.00	2.00	0.75	1.00
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	9.00	6.50	7.00	8.25	6.25	8.00	8.00	5.25	5.50	3.50
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	2.00	2.75	1.25	1.50	2.00	0.25	2.50	3.75	3.50	2.75
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	3.75	8.50	11.25	7.25	6.50	5.75	4.25	3.75	4.75	2.25
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	0.25	0.50	0.25	—	—	—	0.25	—
	手足口病	5.00/2.00	—	—	0.25	0.25	—	—	—	0.75	3.50	2.50	2.50
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	1.00	—	0.75	—	—	0.25	0.75	0.25	0.50	0.25
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	0.25	—	0.25
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	6.00	7.00	4.00	4.00	3.00	3.00	3.00	5.00	5.00	1.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

定点種別	疾病	警報/終息基準値	注意報基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				9W	10W	11W	12W	13W	14W	15W	16W	17W	18W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	11.60	14.00	9.60	9.20	17.20	6.00	0.20	0.20	—	—
	COVID-19	—	—	3.40	4.80	4.20	4.40	5.20	3.40	1.40	3.80	0.60	1.80
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	—	0.33	0.33	—	1.00	0.33	0.33	—	0.67	0.33
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	4.67	4.67	8.67	5.00	5.33	5.33	4.00	1.33	3.67	3.67
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	5.67	4.00	8.00	5.00	6.33	3.00	9.67	9.33	13.67	9.33
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	5.00	6.33	5.00	4.00	5.33	1.67	1.33	1.33	0.67	0.33
	水痘	2.00/1.00	1.00	0.33	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	0.33	2.00	0.67
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	—	—	0.33	—	0.33	—	—	—	0.33	0.33
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.67	0.67
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

★第 18 週に関して、川薩においては咽頭結膜熱、出水においては咽頭結膜熱と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎が引き続き警報中です。また、インフルエンザ様症疾患における学級閉鎖等はありませんでした。感染症には、病原体が体内に侵入してから症状が出るまでに時間がかかるものもありますので、お子様も含め、外出後しばらくは体調に変わりがないか気にかけてみましょう。海外旅行をした後に身体に異常が見られる方は、外国で流行している感染症にかかった可能性もありますので、『厚生労働省検疫所 FORTH ホームページ』も参照し、医療機関に電話で相談しましょう。また、その指示に従って受診しましょう。

感染症対策へのご協力をおねがいします

！手洗い

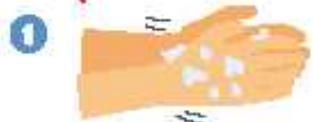
新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。
外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗います。

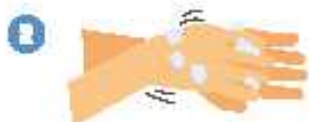
正しい手の洗い方

手洗いの
前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう



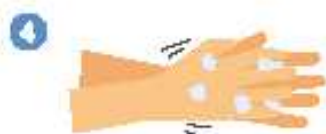
① 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



② 手の甲をのばすようにこすります。



③ 指先・爪の溝を念入りにこすります。



④ 指の関節を洗います。



⑤ 親指と手のひらをねじり洗います。



⑥ 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

首相官邸

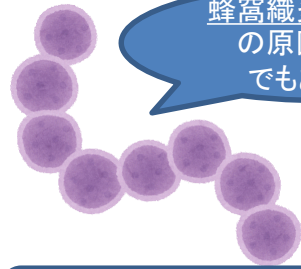
厚生労働省

原野省



昨年度の人食いバクテリアの発生件数が
過去最多でした...

蜂窩織炎や猩紅熱
の原因病原体
でもあります



・飛沫感染
・接触感染

人食いバクテリアとは...?

人食いバクテリアとは、劇症型溶血性レンサ球菌感染症のことであり、この感染症が突発的に発症し、急速に病状が進行することが表現されています。劇症型溶血性レンサ球菌感染症の原因病原体はA群溶血性レンサ球菌です。子どもから大人まで幅広い年齢層に発症しますが、特に30歳以上の大人に多いのが特徴です。免疫不全等の重篤な基礎疾患を持っていないにもかかわらず、24時間以内に多臓器不全になるほど急激に症状が悪化し、およそ30%が死に至ります。

どんな症状がでるの...?

①初期症状

- ・インフルエンザ様の症状(発熱, 悪寒, 筋肉痛, 下痢等)
- ・四肢の疼痛
- ・腫脹

患者の
約20%
発症

②後発症状(発症後数十時間以内)

- ・軟部組織病変(紫色の水疱, 発疹)
- ・呼吸器困難
- ・痙攣, 意識消失



進行がとても早く、
数十時間後には
ショック状態から
死に至ることも...

感染しない, 拡大させないようにするには...?

①手洗いをしっかりと施行する

②咳エチケットを徹底する

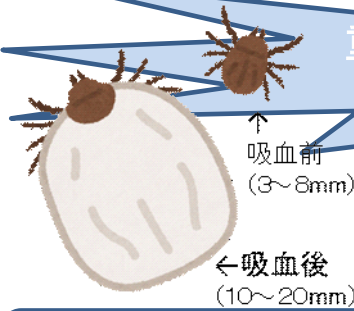
③傷ができた際は傷口をきれいに洗い, 清潔を保つ



飛沫感染や
接触感染の
基本的な対策と
同じです



重症熱性血小板減少症候群(SFTS)が 発生しました



- ・媒介感染
- ・接触感染

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)とは...?

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)とは、2011年に中国で新しい感染症として流行していることが報告された病気です。アジアを中心に広がっており、日本では西日本(特に南九州)での発生が目立ちます。

すべてのダニがウイルスを保有しているわけではありませんが、日本における致命率は30%です。ペットについてマダニから感染する可能性もありますので、ダニ駆除剤など検討の場合は獣医師に相談しましょう。また、体調不良の動物とは過度にふれあうことはせず、なめられたり、咬まれたりしないように注意しながら、早めに動物病院で診てもらいましょう。

原因病原体: ブニヤウイルス科フレボウイルス属SFTSウイルス

ヒト-ヒト感染: 血液等の患者体液との接触により感染の可能性あり

症状: 発熱, 消化器症状(食欲不振, 嘔吐, 下痢等), 筋肉痛など

潜伏期: 6~14日

もしも咬まれてしまったら...?



自分でマダニを除去してはいけません!

マダニの腹部を指でつまむと、マダニの体液成分が皮膚内に流入しやすくなり、ウイルスや細菌が侵入する可能性が高くなります。マダニは皮膚組織と固く接着し、吸血しているため、無理に引っ張ってしまうと皮膚内に口が残ってしまいます。

マダニに気づいたら早めに医療機関を受診し、除去してもらいましょう。

※もし、自分でとってしまった場合は、マダニは捨てず、保管しておきましょう。
症状が出て医療機関を受診する際に持参しましょう。早期治療の手がかりになるかも知れません。

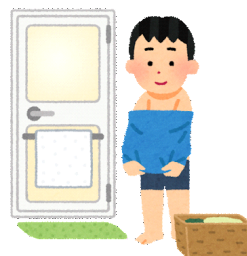


特に草むらや 山の中!

マダニ媒介感染症を防ぐには?

①肌の露出を控える

- ・シャツやジャケットはズボンに入れる
- ・ズボンの裾は靴の中へ入れる
- ・長袖, 長ズボンを着用する
- ・帽子も着用する
- ・ハイネックまたはタオルを首に巻く



②室内に持ち込まない

- ・上着や作業着などは外で脱ぐ
- ・入浴時にマダニが体に付着していないか確認する
- ・衣類に付着しているマダニはガムテープなどで取り除く
- ・マダニの忌避剤(虫よけ剤)を使用する
- ・ペットにダニがついていないか確認する



7月からお札のデザインが変わります



北里柴三郎って、どんな人...？

(出典 北里大学北里研究所病院ホームページ)



・経皮(創傷)感染(破傷風)
・媒介感染(ペスト)
・飛沫感染(ペスト)

北里柴三郎は“医の基本は予防にある”という信念をもち、国内外での伝染病予防と治療に貢献した熊本出身の医師・細菌学者です。

破傷風菌の純粋培養(破傷風菌のみを培養すること)に世界で初めて成功し、『血清療法』を開発しました。伝染病に対する有効な原因療法が存在しなかった当時、血清療法は画期的な手法であり、その後、ジフテリアの治療にも取り入れられました。

また、福沢諭吉(現、1万円札肖像画)の支援を受け、大学や研究所、病院を創立し、後進の指導にも熱心に取り組みました。そして、多くの優秀な弟子を輩出しました。野口英世(現、千円札肖像画)もその一人です。

※血清療法...無毒や弱毒化した毒素を少量ずつ注射し、体内で抗体が作らせる治療・予防方法。

【北里柴三郎の生涯】(出典 学校法人 北里研究所北里柴三郎記念博物館ホームページ)

1853(嘉永5)年

・熊本県阿蘇郡小国町北里で生まれる

1874(明治7)年

・東京医学校(現、東京大学医学部)に入学

・在学中に予防医学を生涯の仕事にする事を決意し、卒業後、内務省衛生局に入局

1886(明治19)年

・ドイツに留学

・ローベルト・コッホに師事

・破傷風菌の培養成功、免疫抗体を発見し、血清療法確立

1892(明治25)年

・帰国後、福沢諭吉の支援の下、伝染病研究所創立

・日本最初の結核専門病院(現、北里大学北里研究所病院)開設

1894(明治27)年

・香港で蔓延したペストの原因追及のために現地へ赴き、ペスト菌発見

1914(大正3)年

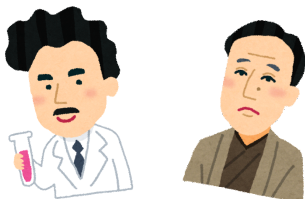
・医学研究機関『北里研究所』を創立し、教育活動や衛生行政等の分野にも貢献

1917(大正6)年

・慶應義塾大学医学部創設、日本医師会などの各種医学団体や病院を設立

1931(昭和6)年

・脳溢血により永眠



【破傷風】

原因病原体:破傷風菌(毒素を産生することにより発病)

ヒト-ヒト感染:なし(傷口に破傷風菌が侵入することで感染)

症状:痙攣, 硬直, 開口障害, 嚥下困難, 歩行や排尿・排便障害

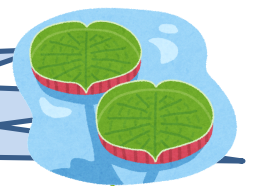
特徴:1968年から定期接種(免疫は約10年)が実施され、近年は感染者のほとんどは30歳以上の成人で発症

治療は対症療法のみ(組織に結合していない毒素には対処可能)

潜伏期:3~21日(平均10日)



海外渡航は感染症にご注意ください



- ・空気感染
- ・飛沫感染
- ・接触感染
- ・経皮(創傷)感染
- ・媒介感染 etc.

海外旅行は危険なの...?



日本と外国では、気候や衛生環境、生息する動物など、環境が異なり、感染症の流行状況も日本とは違います。そのため、日本で流行している感染症の対策だけでは不十分であり、外国で流行している感染症に旅行中または帰国後にかかる可能性があります。

海外旅行を楽しい思い出にするために、旅行先の衛生環境や流行している感染症について調べ、予防策を立ててから出発しましょう。

(出典 厚生労働省検疫所FORTHホームページ)



海外旅行では何が原因でどうやって感染することが多いの...?

●食べ物

汚染された食べ物や水の摂取、感染者と接触することで感染します。旅行客の下痢の原因の多くは食べ物からうつる病気とされています。

- 【対策】
- ・トイレ後や帰宅後、調理前、食べる前の手洗いを徹底する
 - ・生水は飲まず、ミネラルウォーターや沸騰した水を飲む(氷も安全な水から作る)
 - ・口に入れるものは必ず加熱調理されたものとし、サラダや生野菜は避ける



●虫

昆虫などの虫に刺されたり、咬まれたりすることで虫の持っている病原体がうつります。

- 【対策】
- ・虫除け対策を行う
 - ・虫からうつる病気が流行している地域で発熱した際は早めに医療機関を受診する
 - ・予防接種(日本脳炎、黄熱など)や予防薬(マラリア)携行を検討する



●動物

病気を持っている動物を触わる、排泄物に汚染された食品を食べる、咬まれたり引っ搔かれたりすること等で動物が持っている病気がヒトにうつることがあります※狂犬病は致死率100%

- 【対策】
- ・動物にむやみに近づかない、触らない
 - ・動物の排泄物が多い牧草地帯では、飲食物への注意を厳重に守る



●人

咳をした際に吐き出される飛沫(病原体が含まれるしぶき)を吸ったり、人の鼻水や唾液にさわると、その病原体が口からはいることでうつります。

- 【対策】
- ・予防接種を受ける
 - ・咳をしている人や病気の人にはあまり近づかない



●性行為

異性間、同性間の性行為で感染し、泌尿生殖器に症状が現れます。男女で症状が異なる場合があります。薬が効きにくい性行為感染症もあります※HIV感染症が世界中で爆発的に増加中

- 【対策】
- ・ゆきずりの性行為やコマーシャル・セックス・ワーカー(売春を職業とする人)からの誘いは断る
 - ・コンドームを正しく利用する

●環境

傷口から細菌が侵入します。傷がなくても、病原体のいる土ぼこりを吸い込んだり、寄生虫のいる河原や湖畔を裸足で歩くと皮膚を破ったりして体内に侵入します。

- 【対策】
- ・怪我をしたら適切な治療を受ける
 - ・安全が確保できない場所では裸足で歩かず、危険地域では淡水(川、湖沼など)遊びはしない
 - ・土ぼこりなどからうつる病気のみられる地域には近づかない



【一覧】海外で注意しなければいけない感染症

主な感染症	注意すべき病原体	主な発生地域	媒介生物						予防方法		主な症状		
			リゾット 蚊咬傷	節足動物	節足動物 咬傷	節足動物 咬傷	節足動物 咬傷	節足動物 咬傷	その他	予防措置	発熱	下痢	その他
食べ物 水	★ E型肝炎	世界各地	●	●	●	●	●	●	十分な量を食べる	●	●	●	
	★ A型肝炎	世界各地(特に、水源地域が 乏しい地域)	●	●	●	●	●	●	十分な量を食べる	●	●	●	
	★ 赤痢	世界各地(特に、水源地域が 乏しい地域)	●	●	●	●	●	●	十分な量を食べる	●	●	●	
	★ 腸チフス	世界各地(特に、水源地域が 乏しい地域)	●	●	●	●	●	●	十分な量を食べる	●	●	●	
	★ コレラ	世界各地(特に、水源地域が 乏しい地域)	●	●	●	●	●	●	十分な量を食べる	●	●	●	
事故・ケガ	★ 破傷風	世界各地	○	○	○	○	○	○	破傷風やケガに注意する	●	●	●	
蚊	★ マラリア	熱帯・亜熱帯地域(アジア、ア フリカ、中南米)	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	
	★ デング熱	熱帯・亜熱帯地域(アジア、オ セアニア、アフリカ、中南米、 中南米)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	■ チクングニア熱	東南アジア、南アジア、アフリ カ、中南米	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	■ ジカウイルス感染症	アジア、東南アジア、南アジ ア、カリブ海諸国、アメリカ大 陸、太平洋諸島	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	■ 黄熱	アフリカ、中南米	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	
	■ ウエストナイル熱	北アメリカ ヨーロッパ南部 アフリカ、中東、アジア	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	■ 日本脳炎	アジア	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ノミ	■ ベスト	アフリカ、アジア、アメリカ大 陸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	■ 狂犬病	世界各地 (特にアジア、アフリカ)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	■ 恙インフルエンザ	アジア、アフリカ	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	
動物	■ MERS	中東	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	★ 解しん	世界各地 (特にアジア、アフリカ・欧州)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	★ 風しん	世界各地 (特にアジア、アフリカ)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
人	■ ボリオ	中東・アフリカなど	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	■ エムボックス	世界各地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	★ 新型コロナウイルス 感染症	世界各地	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
沼や湖河川	■ レプトスピラ症	世界各地	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	■ 吸血吸虫症	アジア、アフリカ、中南米など	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

●: 最も注意を払うべき病原体
○: 注意を払うべき病原体
●: 媒介生物の多い地域に注意
○: 媒介生物の少ない地域に注意
●: 動物と接触する機会が多い場合に注意
○: 動物と接触する機会が少ない場合に注意
●: 予防接種
○: 予防接種
●: よくみられる症状
○: ときどきみられる症状

感染しないようにするには...?



- ① 生水・氷・フルーツは避け、加熱されたものを食べましょう。
- ② 無理のないスケジュールを心がけましょう。
- ③ 動物には近寄らないようにしましょう。

- ④ 麻薬やゆきずりの性行為ははっきり断りましょう。
- ⑤ 服装に気をつけ、虫除けグッズを所持しましょう。
- ⑥ マスク着用や手指消毒をしましょう。

キケンな蚊、どうする蚊？

さされないために何ができる蚊？

長 袖、長ズボンの服を着用し、肌を出さないよう心がけましょう。

虫 除けスプレーや蚊取り線香、殺虫剤を積極的に使いましょう。

夕 方はもちろん、昼夜も、また都市部（特に家の中）でも注意しましょう。

さされるとどんな病気にかかるの蚊？

マ ラリア

【症状】
寒気、発熱、息苦しさ、目の充血、嘔吐、頭痛、筋肉痛

【特徴】
全世界で年間、2億人の患者、約43万人以上の死亡者が報告されています。
媒介する蚊は、山間部や田園地帯を中心に日没後に出没します。夜間の外出は注意しましょう。

【媒介する蚊】
ハマダラカ

ジ カウウイルス感染症 **デ** ング熱 **チ** クングニア熱

【症状】
発熱、発疹、結膜炎、筋肉痛、関節痛、倦怠感、頭痛

【特徴】
3つの感染症は似た症状を示しますが、ジカウイルス病は、症状が比較的軽いです。
東南アジアやアフリカ、中南米などの、熱帯・亜熱帯地域で流行しています。
媒介する蚊は日中、都市部（時に家の中）にも出没します。
流行地域では虫除け剤の使用や、長袖・長ズボンを着用して素肌を露出させない等、蚊に刺されないように注意しましょう。

【媒介する蚊】
ネッタイシマカ
ヒトスジシマカ

海外でさされたら何をすべき蚊？

海 外で蚊にさされて熱が出た場合は、できるだけ早く医療機関を受診してください。

帰 国時に発熱や心配な症状がある方は、検疫所の担当者にご相談ください。